



# 市長の政治姿勢を追及 6月議会 上野議員の一般質問

## 市長「前回は一個人としての対応、 現在は市長の立場」などと答弁

6月議会で上野議員は、中川幹太市長の政治姿勢、特に知事選や参院選への姿勢と、原発の再稼働についての姿勢を追及しました。

### 原発再稼働に反対表明せず

中川市長は、新潟県知事選挙後の記者会見で、「(原発に関する)花角知事の方向性は自分と違うところはなかった」と述べて支持を表明しました。そこで上野議員は、「原発再稼働については、花角知事は争点化を避けたが、今期の知事在任中に再稼働に向けた準備が整う可能性が大きいことから、知事選での議論が行われるべきであった。このことを市長としてどう感じているか。また、そもそも原発再稼働そのものをどのように考えるか。『再稼働はすべきではない』と、廃炉への方向をはっきり言い続けることができないか」とただしました。

これに対して中川市長は、「原発問題」に関しても、景気・雇用対策や医療・福祉、教育・子育てなどとともに争点の一つであった

ものと認識している」「原発再稼働そのものに対しては、現在、原子力規制庁によって東京電力の“核セキュリティ文化”や“安全文化”の分析・評価を含む追加検査が行われているところであり、その検査によって、まずは、東京電力が法規制上、原子力発電所を運転し得る事業者であるという評価がなされなければ、再稼働の議論にはならないと考えている」と答え、明確な姿勢は示さず、かみ合わない答弁に終始しました。

### 「去年は一個人、今は市長」

上野議員はさらに、国政選挙への政治姿勢に関して質し、「昨年の衆院選挙では野党統一候補を応援したが、今夏の参院選についてはどちらの方も応援しないとしている。『市民目線から判断してどちらにも関わらないのが妥当』と言うのはご都合主義ではないか」と鋭く指摘しました。

この点について市長は、「前回の衆議院選挙の際は一個人としての対応だったが、現在は上越市長としての立場を踏まえ、積極的に国政選挙に関わることはしない」と答え、立場によって政治姿勢を大きく変化させてきたことをみずから明らかにしました。

このことは、市長選挙の際の政治姿勢に基づいて中川氏を選んだ市民との信頼関係を崩壊させかねない姿勢です。選挙が終われば大きく態度を変えるようでは、今後も極めて心配です。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.754 2022年7月17日  
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

# 日本共産党 4 議席獲得 森ゆうこ氏再選ならず

## 参議院議員選挙

10日投票が行われた第26回参議院議員通常選挙では、日本共産党は選挙区で1議席、比例代表で3議席の計4議席を獲得しましたが、改選前の6議席は確保できませんでした。

今回の選挙で日本共産党は、平和をめぐって「軍事費2倍でいいのか」「憲法9条を変えていいのか」の問題を正面から問いかけて、そうした方向にはきっぱり反対だと主張しました。そして、憲法9条を生かして、東アジアに平和をつくる「外交ビジョン」を大きな対案として、提起してたたかいました。

暮らしの問題では、物価高騰からどうやって暮らしを守るかが大きな争点となりました。弱肉強食の新自由主義を終わりにして「やさしく強い経済」をつくっていくことを大いに訴えました。消費税は5%に減税する、中小企業支援と

一体に最低賃金を1500円に引き上げる、大企業の内部留保に制限的な課税を行って賃上げを促進するといった一連の政策を打ち出しました。

こうした政策は、国民の願いに立ったものであって、訴えが伝わったところでは、共感が広がりました。

一方、定数1の新潟選挙区で激しい闘いを繰り広げた「市民と野党の共同候補」森ゆうこ氏は、45万票近くを獲得しましたが、及びませんでした。

森氏は広い市民と野党の共闘に支えられ、「物価高から生活を守る」をスローガンに支持を訴え、多くの県民の共感をえました。

参院選全体では、自民・公明・維新・国民などの改憲勢力が多く議席を占める結果となり、憲法改悪への動きが加速

森氏は広い市民と野党の共闘に支えられ、「物価高から生活を守る」をスローガンに支持を訴え、多くの県民の共感をえました。

比例代表得票数(上越市開票区)

政党名(届出順)	合計得票数
幸福実現党	130.0000
日本維新の会	5148.2910
れいわ新選組	2686.3160
公明党	5186.5550
ごぼうの党	313.0000
立憲民主党	21077.9380
国民民主党	3545.5740
参政党	2297.8390
日本第一党	112.0000
日本共産党	3879.7880
新党くにもり	49.0000
自由民主党	35705.5180
社会民主党	2966.0100
NHK党	1546.1550
維新政党・新風	53.0000

新潟選挙区得票数  
(上越市開票区)

候補者氏名	得票数
小林 一大	41,671
森 ゆうこ	41,431
遠藤 弘樹	2,659
おちひろゆき	1,417

する恐れがあります。

しかし、日本がこの77年間戦火を免れ、一人の戦死者も出さず一人の外国人も殺さずに来たのは、9条など平和憲法があったからこそです。ウクライナの惨状を見るにつけ、今こそこの平和憲法を守る事が大切です。